

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	情報処理学会第83回全国大会
演題名	矛盾許容階層確率CTLモデル検査に対する論理と具体例
発表者	○※山本ノリコ, ※Khoo Nee Kwan, ※楊奕偉, ※石野寛人, ※神戸勢大, <u>上出哲広</u>
内容	矛盾許容階層確率CTLモデル検査は、矛盾許容性、階層性および確率性を持つモデルを検証可能な、CTLモデル検査の拡張である。本研究では、矛盾許容階層確率CTLモデル検査を実現するための論理を提案し、それを用いた矛盾許容階層確率CTLモデル検査の具体例を提示した。矛盾許容階層確率CTLモデル検査を実現するための論理として、従来の確率計算木論理pCTLを拡張した新たな論理IHpCTLを導入した。そして、IHpCTLを用いた矛盾許容階層確率CTLモデル検査の具体例として臨床推論モデルの検証例を示した。(情報処理学会第83回全国大会予稿集2B-02, pp. 1-115-1-116, 2021.)
関連画像	